



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
コード番号 6425 URL https://www.universal-777.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 知裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年3月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	126,328	△29.4	3,024	△90.1	△5,599	—	△15,569	—
2023年12月期	178,995	26.9	30,480	152.2	38,080	173.3	28,439	147.2

(注) 包括利益 2024年12月期 △12,516百万円 (—%) 2023年12月期 42,161百万円 (305.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△200.92	—	△4.1	△0.9	2.4
2023年12月期	367.04	367.00	7.7	6.2	17.0

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 9百万円 2023年12月期 △6,747百万円

(注) 2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	632,795	369,731	58.4	4,771.28
2023年12月期	628,006	388,388	61.8	5,011.39

(参考) 自己資本 2024年12月期 369,731百万円 2023年12月期 388,336百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	1,518	△13,371	△9,798	23,795
2023年12月期	28,017	△10,124	△11,326	44,190

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	40.00	—	0.00	40.00	3,099	10.9	0.8
2024年12月期	—	30.00	—	0.00	30.00	2,324	—	0.6
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2025年12月期(予想)における配当予想額は未定としております。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	18.7	16,000	429.1	1,000	—	800	—	10.32

（参考）遊技機事業の市場環境は、パチスロ機においては好調な稼働状況が続くスマートパチスロの設置シェアが順調に拡大、パチンコ機においても、スマートパチンコやラッキートリガー搭載機が普及し始め、市場環境の活性化に期待が持てる状況です。また、統合リゾート(IR)事業では、オカダ・マニラへの来場者数は順調に推移しており、ゲーミング、非ゲーミングが一体となり施設の魅力を高め、業績安定を目指してまいります。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無
新規—社、除外—社

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	80,195,000株	2023年12月期	80,195,000株
2024年12月期	2,704,096株	2023年12月期	2,704,096株
2024年12月期	77,490,904株	2023年12月期	77,484,165株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	45,730	△44.9	979	△93.5	△3,573	—	△11,868	—
2023年12月期	83,028	18.5	14,982	100.0	9,527	12.4	7,374	55.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	△153.16	—
2023年12月期	95.17	95.16

（注）2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	474,936	352,335	74.2	4,546.79
2023年12月期	525,775	366,516	69.7	4,729.13

（参考）自己資本 2024年12月期 352,335百万円 2023年12月期 366,464百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

遊技機事業においては、下期にかけ主要タイトルを複数集中して市場投入する戦略に基づき販売を行ってまいりましたが、当社グループ製品の型式試験適合率の低迷により、新機種販売に期ずれが生じました。

このため販売台数が前事業年度の180,632台から92,150台となり、売上高、営業利益とも減少しました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	14
(会計方針の変更)	14
(連結キャッシュ・フロー計算書注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

2024年12月期	売上高	営業利益	経常損失	親会社株主に帰属する 当期純損失
個別 (百万円)	45,730	979	△3,573	△11,868
連結 (百万円)	126,328	3,024	△5,599	△15,569

当連結会計年度における日本経済は、個人消費やインバウンド需要の増加により緩やかな回復基調となりました。一方で、国際情勢の動向、原材料価格や資源価格の高騰、物価の上昇、大幅な為替変動等が国内外の経済活動に与える影響が懸念され、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした環境の中で遊技機事業では、下期にかけ主要タイトルを複数集中して市場投入する戦略に基づき販売を行ってまいりましたが、当社グループ製品の型式試験適合率の低迷により、新機種販売に期ずれが生じました。そのため、下期において49,106台の販売に留まり、当連結会計年度のパチスロ・パチンコ機総販売台数は92,150台となりました。統合型リゾート(IR)事業においては、フィリピンのカジノマーケット全体でVIP客数の落ち込みが続き、業績は年間を通じて前年を下回りました。

この結果、売上高は126,328百万円(前期比 29.4%減)、販売費及び一般管理費はオカダ・マニラにおける人件費の増加もあり、営業利益は3,024百万円(前期比 90.1%減)となりました。加えて、前年同期同様円安ドル高の進行による為替差益の計上があった一方、前年同期にありました賃貸借契約解約益・リース解約益といった多額の営業外収益はなかったこともあり、経常損失は5,599百万円(前年同期 経常利益38,080百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は15,569百万円(前年同期 親会社株主に帰属する当期純利益28,439百万円)となりました。

なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりです。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

(単位：百万円)

2024年12月期	売上高	セグメント利益
遊技機事業	43,504	7,312
統合型リゾート(IR)事業	81,981	2,871
その他	476	349
合計	125,963	10,533

①遊技機事業

当連結会計年度における遊技機事業の売上高は43,504百万円(前期比 46.3%減)、営業利益は7,312百万円(前期比 69.6%減)となりました。

遊技機業界では、スマートパチスロが継続的に市場に導入され、パチンコホールの期待に応える好調な稼働を維持しており、パチスロ機の市場環境は良好です。パチンコ市場にはゲーム性の幅が広がったラッキートリガー搭載機やスマートパチンコが普及し始め、一定の評価を得るヒット機種も出てきており、市場環境の活性化に期待が持てる状況となりました。

かかる状況下で当社は、パチンコホールから高評価を得ている沖ドキ!シリーズから、『沖ドキ!BLACK』、新規則6.6号機に対応した『沖ドキ!ゴージャス』、株式会社カプコンとの業務提携による遊技機『スマスロ 鬼武者3』、パチンコ機においては、『Pメイドインアビス 虹の黄金域』、ラッキートリガー搭載機『Pドラムだ!金ドン花火外伝』等の販売を行いました。

②統合型リゾート(IR)事業

当連結会計年度における統合型リゾート(IR)事業の売上高⁽¹⁾は81,981百万円(前期比 15.4%減)、営業利益は2,871百万円(前期比 80.0%減)となりました。また、調整後EBITDA⁽²⁾は19,560百万円(前期比 34.8%減)となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」では、年間を通じて前年を下回る業績となりました。ゲーミング事業においては、施設への来訪者は前年に比べて増加しましたが、フィリピンのカジノマーケット全体がジャンケット⁽³⁾ビジネスの停滞に直面する中で、オカダ・マニラにおいても年間を通じてVIP客数の落ち込みが続きました。マスマーケット、ゲーミングマシンの売上高については、コロナ禍前のピークであった2019年と比べて

着実に伸びてはいるものの、コロナ禍後の反動需要があった前年を下回りました。ホテル・飲食事業においては、顧客数、売上高ともに堅調に推移しております。

- (1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したもの
- (2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目
- (3) ジャンケットとは、世界各国のVIPをカジノに誘客し、移動や食事等の世話をする仲介業者のこと

③その他

当連結会計年度におけるその他の売上高は476百万円（前期比 42.7%減）、営業利益は349百万円（前期比 22.4%増）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、『スマスロ劇場版 魔法少女まどか☆マギカ[前編]始まりの物語/[後編]永遠の物語f-フォルテ』『ニューゲッターマウス』『沖ドキ!BLACK』のシミュレーターアプリをApp Store・Google Playにて配信しました。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」では、ゲーム内イベントを常時開催し、ユーザーの新規獲得と満足度向上に努めております。楽曲配信においては、主要サイトApple Music・Spotify・YouTube Musicをはじめとする24サイトへ8タイトルを提供いたしました。

(今後の見通し)

①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチスロ機においては好調な稼働が続くスマートパチスロの設置シェアが順調に拡大、パチンコ機においても、スマートパチンコを対象にゲーム性のさらなる拡充が実施され、今後のヒット機種登場による市場環境の活性化が予測されます。

2025年12月期第1四半期においては、人気アニメの世界観を再現した『スマスロ シャーマンキング』の市場投入を開始しております。パチンコ機では、株式会社バンダイナムコエンターテインメントの国民的野球ゲームをモチーフとした『Pハネモノ ファミリースタジアム』、世界が涙したラブロマンスがパチンコで蘇る『P愛の不時着』の市場投入を開始しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努め、遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

②統合型リゾート(IR)事業

フィリピン観光省の発表によると、インバウンド旅行客数は年度を通じて9.2%と堅調に増加しました。

オカダ・マニラでは、人材採用とトレーニングを通じてゲーミング事業におけるマーケティング機能の強化を図ることで、フィリピン国内顧客層の拡大及び日本・韓国・その他東南アジア各国からの観光客の誘致を目的としたマーケティング活動を可能にしています。加えて、2024年に新たに稼働を開始したフィリピン国内向けオンラインゲーミングのプラットフォームの浸透、会員プログラム「REWARD CIRCLE」を通じたプロモーション活動を進めてまいります。非ゲーミング事業においても、定期的なホテル・飲食イベントに加え、館内施設を利用した大型イベントの開催や海外メディアの現地視察ツアー誘致の継続、オカダ・マニラへの来場者数の増加を目指してまいります。このように、ゲーミング、非ゲーミング事業が一体となって、施設全体の魅力度を高めるための取り組みを継続してまいります。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、高品質なシミュレーターアプリや楽曲の配信を行ってまいります。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においてもサービスの改善、ユーザー満足度の向上に努めてまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、円安ペソ高により固定資産が増加、開発仕掛増加による仕掛品増加、持分法関連会社に対する長期貸付金増加といった増加項目もあり、前連結会計年度末に比べて4,789百万円増加し632,795百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済ならびに新規調達、社債の償還ならびに新規調達による増減があったこと、繰延税金負債の増加、関係会社長期預り金の増加、円安ペソ高の進行によるリース債務の増加により、前連結会計年度末に比べて23,446百万円増加し263,064百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上、配当支払、非連結子会社を連結子会社としたことにより減少したこともあり、前連結会計年度末に比べて18,657百万円減少し369,731百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、減価償却費、社債利息、リースや借入金の支払利息の計上、当社における新規社債による資金調達、連結子会社における新規の長期借入金による資金調達により増加した一方、円安ドル高の進行による為替差益、社債・リース・借入金の利息支払、工事前渡金に伴う支出等により有形・無形固定資産の取得による支出、持分法関連会社に対する貸付による支出、当社における既存社債の償還、連結子会社における既存の長期借入金の返済の支出、配当金の支払により減少したこともあり、前連結会計年度末に比べて20,394百万円減少し、23,795百万円となりました。

また当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,518百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失6,842百万円、減価償却費18,048百万円、支払利息・社債利息19,429百万円、為替差益を14,176百万円計上した一方、売上債権の減少額5,335百万円、棚卸資産の増加額4,976百万円、その他の固定負債の増加額5,327百万円によるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,371百万円の支出となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出9,029百万円、長期貸付けによる支出4,650百万円によるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,798百万円の支出となりました。これは主に、長期借入れによる収入60,827百万円、社債の発行による収入62,832百万円、長期借入金の返済による支出4,973百万円、社債の償還による支出126,016百万円、配当金の支払額2,324百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
自己資本比率 (%)	62.9	59.2	58.6	61.8	58.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	32.4	33.0	30.9	28.3	12.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	31.8	62.8	4.7	4.2	83.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	0.6	0.3	2.7	2.0	0.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、社債・借入金等を対象としております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を最重要経営課題の一つとして取り組んでおります。

また、企業価値の継続的向上と持続的な成長を図るため、資本効率の向上と健全な財務体質を確保する資本政策を勘案の上、安定的かつ継続的に業績に見合った成果の配当を行うことを基本方針としております。

内部留保につきましては、健全な財務体質を確保し経営基盤を強化するとともに、有望な事業案件に対しては、必要な資金を機動的に投資するために、適正な水準を維持することを基本方針としております。

自己株式の取得につきましては、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の実施等を目的として、適宜検討してまいります。

2024年12月期の配当金につきましては、中間配当として2024年6月30日を基準日とした1株当たり30円の配当を実施いたしました。期末配当につきましては、当期の連結業績及び当期末における当社の財務状況等を総合的に勘案

した結果、無配とさせていただきます。

なお、当社は会社法第454条第5項に規定する中間配当を行うことができる旨を定款で定めております。

基準日が当事業年度に属する剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額 (百万円)	1株あたり配当額 (円)
2024年8月8日 取締役会決議	2,324	30.00

また、2025年12月期の配当金につきましては、未定とさせていただきます。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,300	23,795
受取手形及び売掛金	11,039	5,804
有価証券	2,448	279
商品及び製品	3,399	2,453
仕掛品	13,839	17,952
原材料及び貯蔵品	10,988	12,944
その他	18,827	16,481
貸倒引当金	△884	△854
流動資産合計	103,958	78,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	406,384	430,598
減価償却累計額	△56,678	△70,798
建物及び構築物(純額)	349,706	359,800
機械装置及び運搬具	62,551	64,827
減価償却累計額	△37,450	△41,900
機械装置及び運搬具(純額)	25,100	22,927
リース資産	56,151	59,882
減価償却累計額	△6,366	△8,367
リース資産(純額)	49,784	51,515
土地	7,544	7,732
建設仮勘定	6,670	9,665
その他	30,661	33,205
減価償却累計額	△26,670	△27,637
その他(純額)	3,991	5,568
有形固定資産合計	442,798	457,209
無形固定資産		
その他	1,795	2,041
無形固定資産合計	1,795	2,041
投資その他の資産		
投資有価証券	9,941	10,250
長期預け金	8,743	9,735
関係会社長期預け金	34,402	38,351
関係会社長期未収入金	11,423	9,967
繰延税金資産	4,586	4,216
その他	15,047	26,351
貸倒引当金	△4,992	△5,041
投資その他の資産合計	79,152	93,830
固定資産合計	523,745	553,082
繰延資産	301	857
資産合計	628,006	632,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,399	6,290
1年内返済予定の長期借入金	4,467	948
1年内償還予定の社債	113,810	—
未払金	6,492	6,020
未払費用	10,169	9,709
未払法人税等	81	43
賞与引当金	87	93
その他	20,230	20,234
流動負債合計	164,739	43,341
固定負債		
社債	—	62,913
長期借入金	—	62,152
退職給付に係る負債	650	1,099
関係会社長期預り金	7,091	14,233
リース債務	56,650	61,420
繰延税金負債	7,305	15,326
その他	3,181	2,576
固定負債合計	74,879	219,723
負債合計	239,618	263,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,828	18,828
利益剰余金	364,273	342,614
自己株式	△7,298	△7,298
株主資本合計	375,900	354,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△32
為替換算調整勘定	12,620	15,693
退職給付に係る調整累計額	△163	△170
その他の包括利益累計額合計	12,436	15,489
新株予約権	51	—
純資産合計	388,388	369,731
負債純資産合計	628,006	632,795

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	178,995	126,328
売上原価	79,661	51,225
売上総利益	99,334	75,102
販売費及び一般管理費	68,854	72,077
営業利益	30,480	3,024
営業外収益		
受取利息	1,095	1,074
受取配当金	25	27
為替差益	6,259	11,263
賃貸借契約解約益	18,698	—
リース解約益	4,150	—
持分法による投資利益	—	9
その他	717	582
営業外収益合計	30,946	12,957
営業外費用		
支払利息	4,745	6,265
社債利息	11,305	13,163
持分法による投資損失	6,747	—
支払手数料	10	12
貸倒引当金繰入額	46	41
その他	490	2,098
営業外費用合計	23,345	21,581
経常利益又は経常損失(△)	38,080	△5,599
特別利益		
固定資産売却益	49	104
新株予約権戻入益	—	51
その他	2	—
特別利益合計	51	156
特別損失		
固定資産除売却損	183	18
投資有価証券評価損	—	98
関係会社株式評価損	—	149
海外投資損失	—	1,099
減損損失	—	34
特別損失合計	183	1,399
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	37,948	△6,842
法人税、住民税及び事業税	409	116
法人税等調整額	9,099	8,610
法人税等合計	9,508	8,727
当期純利益又は当期純損失(△)	28,439	△15,569
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	28,439	△15,569

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	28,439	△15,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△12
為替換算調整勘定	13,907	3,073
退職給付に係る調整額	△181	△6
その他の包括利益合計	13,721	3,053
包括利益	42,161	△12,516
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	42,161	△12,516
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	98	18,829	338,932	△7,317	350,542
当期変動額					
剰余金の配当			△3,099		△3,099
親会社株主に帰属する当期純利益			28,439		28,439
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△1		18	17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1	25,340	18	25,358
当期末残高	98	18,828	364,273	△7,298	375,900

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△16	△1,287	18	△1,285	58	349,315
当期変動額						
剰余金の配当						△3,099
親会社株主に帰属する当期純利益						28,439
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4	13,907	△181	13,721	△7	13,714
当期変動額合計	△4	13,907	△181	13,721	△7	39,072
当期末残高	△20	12,620	△163	12,436	51	388,388

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	98	18,828	364,273	△7,298	375,900
当期変動額					
剰余金の配当			△2,324		△2,324
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△15,569		△15,569
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
連結範囲の変動			△3,764		△3,764
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△21,659	—	△21,659
当期末残高	98	18,828	342,614	△7,298	354,241

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△20	12,620	△163	12,436	51	388,388
当期変動額						
剰余金の配当						△2,324
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△15,569
自己株式の取得						—
自己株式の処分						—
連結範囲の変動						△3,764
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12	3,073	△6	3,053	△51	3,002
当期変動額合計	△12	3,073	△6	3,053	△51	△18,657
当期末残高	△32	15,693	△170	15,489	—	369,731

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	37,948	△6,842
減価償却費	17,254	18,048
減損損失	—	34
固定資産除売却損益(△は益)	134	△85
関係会社株式評価損	—	149
海外投資損失	—	1,099
投資有価証券評価損益(△は益)	—	98
賃貸借契約解約益	△18,698	—
リース解約益	△4,150	—
新株予約権戻入益	—	△51
持分法による投資損益(△は益)	6,747	△9
受取利息及び受取配当金	△1,120	△1,101
支払利息	4,745	6,265
社債利息	11,305	13,163
為替差損益(△は益)	△6,583	△14,176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△274
売上債権の増減額(△は増加)	△1,288	5,335
棚卸資産の増減額(△は増加)	△461	△4,976
未収入金の増減額(△は増加)	△4,922	△1,759
未払消費税等の増減額(△は減少)	187	△3,006
仕入債務の増減額(△は減少)	1,852	△3,207
未払金の増減額(△は減少)	△1,689	△143
その他の流動資産の増減額(△は増加)	353	2,157
その他の流動負債の増減額(△は減少)	381	△5,961
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,677	5,327
その他	1,468	2,724
小計	41,843	12,807
利息及び配当金の受取額	365	346
利息の支払額	△13,820	△11,478
法人税等の支払額	△371	△156
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,017	1,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,969	△8,554
有形固定資産の売却による収入	73	105
無形固定資産の取得による支出	△764	△475
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
短期貸付けによる支出	△800	—
短期貸付金の回収による収入	1,500	41
長期貸付けによる支出	—	△4,650
長期貸付金の回収による収入	208	10
その他	636	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,124	△13,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	60,827
長期借入金返済による支出	△7,698	△4,973
社債の発行による収入	—	62,832
社債の償還による支出	—	△126,016
配当金の支払額	△3,099	△2,324
セール・アンド・リースバックによる支出	△434	—
その他	△93	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,326	△9,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,831	1,108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,397	△20,543
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	38
現金及び現金同等物の期首残高	35,793	44,190
その他の現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	109
現金及び現金同等物の期末残高	44,190	23,795

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書注記)

前連結会計年度(自2023年1月1日 至2023年12月31日)

その他の現金及び現金同等物の増減額は、当社グループの連結子会社TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INCにおけるPHILIPPINE NATIONAL BANK、UNION BANKの預金口座が凍結されたことにより、当該預金が随時引き出し可能な預金に該当せず、連結キャッシュ・フロー計算書における現金及び現金同等物の定義を満たさなくなったため、当該金額を減額しているものです。

当連結会計年度(自2024年1月1日 至2024年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「遊技機事業」及び「統合型リゾート(IR)事業」の2つを報告セグメントとしております。

(1)「遊技機事業」は、パチスロ、パチンコ及び周辺機器等の研究、開発、製造、販売をしております。

(2)「統合型リゾート(IR)事業」は、フィリピンにおいて、カジノ、ホテル、飲食、リテイル&リーシング、エンターテインメント及び不動産開発等の事業を運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	遊技機事業	統合型リゾート(IR)事業		
売上高				
外部顧客への売上高	80,980	96,947	831	178,759
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	420	420
計	80,980	96,947	1,252	179,180
セグメント利益	24,082	14,367	285	38,734
セグメント資産	74,856	491,900	2,041	568,797
その他の項目				
減価償却費	1,520	15,286	56	16,863
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,144	2,858	152	4,155

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディアコンテンツ事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	遊技機事業	統合型リゾート(IR)事業		
売上高				
外部顧客への売上高	43,504	81,981	476	125,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	699	699
計	43,504	81,981	1,176	126,662
セグメント利益	7,312	2,871	349	10,533
セグメント資産	63,410	500,243	1,906	565,561
その他の項目				
減価償却費	1,244	16,284	61	17,591
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,012	3,507	35	5,555

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディアコンテンツ事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	177,927	125,486
「その他」の区分の売上高	1,252	1,176
セグメント間取引消去	△420	△699
全社収益 (注)	236	365
連結財務諸表の売上高	178,995	126,328

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない美術館の収入であります。

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	38,449	10,184
「その他」の区分の利益	285	349
セグメント間取引消去	△305	△547
全社収益 (注1)	236	365
全社費用 (注2)	△8,185	△7,325
連結財務諸表の営業利益	30,480	3,024

(注) 1. 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない美術館の収入であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	566,756	563,654
「その他」の区分の資産	2,041	1,906
全社資産 (注)	59,209	67,234
連結財務諸表の資産合計	628,006	632,795

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない関連会社に対する投資、余資運用資金 (現金預金、有価証券) 及び土地等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	16,807	17,529	56	61	391	457	17,254	18,048
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,002	5,520	152	35	433	202	4,589	5,757

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社部門における投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	フィリピン	その他海外	合計
82,053	96,942	—	178,995

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	フィリピン	その他海外	合計
16,685	422,794	3,318	442,798

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	フィリピン	その他海外	合計
44,354	81,973	—	126,328

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	フィリピン	その他海外	合計
17,097	436,474	3,638	457,209

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

重要な減損損失はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)		当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	
1株当たり純資産額	5,011円39銭	1株当たり純資産額	4,771円28銭
1株当たり当期純利益	367円04銭	1株当たり当期純損失(△)	△200円92銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	367円00銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	367円04銭	△200円92銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	28,439	△15,569
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	28,439	△15,569
普通株式の期中平均株式数(千株)	77,484	77,490
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	367円00銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	7	—
(うち新株予約権(千株))	(7)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2017年9月21日取締役会決議ストック・オプション 普通株式360,000株 (新株予約権3,600個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。